

令和5年度第1回花巻市社会教育委員会議 会議録

開催日時 令和5年7月13日(木) 午後2時00分～午後4時00分

開催場所 生涯学園都市会館 3階 第2・3中ホール

出席者 委員出席者14名 菊池豊議長、堀合範子副議長、福盛田弘氏、伊藤昇氏、浅沼由美子氏、佐藤貴哉氏、菊池朋子氏、似内和久氏、久保田精喜氏、小国朋身氏、高橋福子氏、菊池清氏、大竹佐久子氏、高橋典人氏

委員欠席者6名 浅沼清智氏、佐々木淳一氏、似内利正氏、外館邦博氏、佐々木さつき氏、藤井輝雄氏

事務局 6名 生涯学習部 市川部長
生涯学習課 梅原課長、菊池課長補佐、鈴木生涯学習係長、吉田主査、石垣主事

説明者 5名 市民生活総合相談センター 坊澤所長
賢治まちづくり課 鈴木課長
スポーツ振興課 菅原課長
花巻図書館 鈴木館長
花巻市博物館 佐藤副館長

報道機関 なし

傍聴者 なし

- 次 第
- 1 開 会
 - 2 あいさつ
 - 3 委員紹介
 - 4 議 題
 - (1) 令和5年度の生涯学習・社会教育の実施計画等について
 - (2) 令和6年度の生涯学習・社会教育事業について
 - (3) その他
 - 5 そ の 他
 - (1) 第70回岩手県公民館大会・令和6年度岩手県社会教育委員研究大会(花巻・遠野地区大会)について
 - 6 閉 会

1 開会 (開会 午後2時00分)

事務局(菊池生涯 それでは、皆様ご案内の時間より少し早い時間ではありますが、
学習課長補佐) お揃いになりましたので始めていきたいと思っております。

改めまして、皆様本日はお忙しい中、そしてまた暑い中お集まりいただき誠にありがとうございます。

開会に先立ちまして本会議の成立についてご報告をいたします。

本日、欠席報告されております委員は名簿番号1番の浅沼委員、2番の佐々木委員、8番の似内委員、14番の外館委員、17番の佐々木委員、20番の藤井委員の6名です。花巻市社会教育会議運営規則第7条の規定によりまして、今回は委員の半数以上の出席により成立いたしますが、現在委員20名のうち14名の方に出席をいただいておりますことから本会議が成立することをご報告いたします。

なお、今年度新しく社会教育委員をお引き受けいただきました委員の皆様のお手元に委嘱状を配置してございます。本来であればお一人お一人お渡しするところではございますが、座席配置にて交付に替えさせていただきます。ご了承くださいませようお願いいたします。

続きまして、資料の確認をいたします。

あらかじめ郵送でお送りしている部分もありますが、お揃いであるか確認をしていきたいと思っております。まずは、表紙です。令和5年度第1回花巻市社会教育委員会会議、この裏面には委員の名簿をつけてございます。それから、資料1ということでA3横長の第3期花巻市教育振興基本計画「3 生涯学習の推進」/主な事業実施状況と入った資料です。

それから、次に資料その他でA4のものがあります。岩手県公民館大会開催一覧が書かれたものがあります。なお、表紙と資料1のスポーツの振興の部分について一部修正がありましたので、差し替えのものを机の上に配置させていただいております。差し替えをお願いいたします。

それから、その他の資料といたしまして、社会教育委員の皆さまのみの配布資料ではありますが、議題では使用しません。後ほど、ご覧いただきたい資料を配置してございます。

1つ目がA5の大きさと「資料の提供方法について」というものが紙1枚でございます。後ほど説明いたします。同じくA5のもので「配布書類について」というものがあります。岩手県社会教育連絡協議会からの配布資料であります。次に、資料NoはありませんがA3横のもので講座等調べと書いてあるもの、A4横のもので令和5年度生涯学習事業と書かれた少し厚めの資料もございます。これは、今年度市とコミュニティ会議が主催する事業をまとめたものです。こちらも後ほどご覧ください。

最後に、漫画「ふるさとの偉人佐藤昌介物語」というマンガが一冊ございます。こちらは、昨年度B&G財団から補助金を受けて市が作成した偉人マンガでございます。

以上が、本日の資料となります。お揃いでしょうか。では、お揃いということで進めたいと思います。

それでは、改めまして1の開会から進めさせていただきます。ただいまから、令和5年度第1回花巻市社会教育委員会議を開催いたします。開会にあたりまして、菊池議長からご挨拶をいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

2 あいさつ 菊池豊議長

今日も、だいぶ気温が上がって暑くなってきましたけれども、ぜひ熱中症にならないよう注意しながら過ごしたいと思います。

さて、今年度はコロナも5類に移行したということですので、生涯学習に関わるいろいろな事業も従前通り十分行うことができるのかなというふうに思います。ただ、沖縄では、第9波が始まっているというような話もあります。今までの経過を見ると、だいたい沖縄で拡大し出すと、3か月位おいて本州にやってくるというようなことも言われておりますので、今年後半またコロナに対して気をつけながらやっていかなくはいけないかなという点もあります。生涯学習に関わる事業は今までの視点がいろいろありますから、そんなに大きく変更しなくてもいいのかな、やれるところはやっていくというような姿勢が必要かと思います。

いずれ、そういったことで全部が今までのような社会が戻ってくるということではない。その辺は気をつけながら、生涯学習を行っていければいいかなと思います。生涯学習というのはこれからも非常に大切なところですので、花巻市がどのような生涯学習の事業を推進していくのかということにつきまして、皆様のご意見をぜひお寄せいただいて、よりよい花巻の生涯学習を進めていければというふうに思います。よろしくお願いいたします。

3 委員紹介 事務局（菊池生涯 学習課長補佐）

菊池議長、ありがとうございました。

続きまして、委員の紹介に移らせていただきます。本日、新しい委員の皆様もおいでになりますので、お手元の名簿をご覧くださいまして、大変恐縮ではございますが、名簿順に簡単に自己紹介をお願いできればと思います。福盛田委員から、簡単な自己紹介ということでお願いいたします。

（委員自己紹介→職員紹介）

それでは、4の議題に進んでまいります。議事に入らせていただきますが、ここからの進行は議長、副議長にお願いしたいと存じます。はじめに、会議の公開基準に基づき本会議の公開について確認をしていただいたのちに、議事進行をお願いいたします。菊池議長よろしくお願いいたします。

菊池豊議長

はい、それでは会議公開の確認をします。

花巻市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき本会議を公開することとしてよろしいか伺います。公開してよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは異議なしということですから、公開を決定したいと思います。

4 議題
菊池豊議長

それでは、続きまして審議に入りたいと思います。

はじめに、令和5年度の生涯学習・社会教育の実施計画について資料1ですね。これに基づいて、説明をお願いしたいと思います。

1つ目は、生涯学習の推進から新規事業や主要な部分を中心に説明をお願いしたいと思います。それでは事務局、よろしくお願いいたします。

事務局（梅原生涯
学習課長）

はい。それでは私のほうから説明させていただきます。資料1をご覧くださいと思います。こちらの資料には、令和4年度の主な事業報告と令和5年度の主な事業計画の両方が記載されておりますが、こちらでは令和5年度の主な事業計画の重点を中心に事業ごとに各担当から順番にご説明したいと思います。よろしくお願いいたします。

では、最初に生涯学習の推進の部分で生涯学習講座開催事業についてですが、今年度の重点といたしましては、市民の生涯学習のきっかけづくりとなる場や学習機会を提供するため、生涯学習講座を開催することや、昨年度に引き続き、特に力を入れている家庭教育支援講座について、赤ちゃんに限らず幼児以上のお子さんとその家族に対象を広げて実施することです。

今年度、コロナも第5類になりまして、皆さんの気持ちもようやく外に向き始めました。今年度これまで開催した市民講座や申込みが始まった講座については、たくさんのご応募をいただいております。ほとんどが抽選になる程好評です。

続いて、生涯学習活動支援事業でございますが、次のページに移ります。2ページ目の重点のところですが、今年度の重点といたしましては、生涯学習フェア、これはまなび学園祭ですが、これを通常どおり開催することや生涯学習講師の募集につきまして、地域などで活動している人で未登録といった方もまだいらっしゃると思いますので、引き続きお声がけをしながら、講師の充実を図っていききたいということです。

鈴木花巻図書館長

花巻図書館の鈴木と申します。よろしくお願いいたします。

2ページ目の3番、視聴覚教育推進事業でございます。花巻図書館には視聴覚教育ライブラリーがございます。16ミリフィルムやDVD、ビデオテープといった教材、資料を持っておりまして、各団

体への貸し出しを行って、生涯学習教育を推進していくという事業でございます。

コロナで事業ができなかった期間もあり、大きく変わったところはありませんが、今年度はコロナ前と同じように推進していきたいと考えております。

事務局（梅原生涯
学習課長）

次は、生涯学習施設整備事業ですが、今年度はまなび学園の大規模改修工事、体育室の屋根改修と給排水設備の修繕、石鳥谷生涯学習会館の外壁塗装改修工事、あとは大迫の沢崎生活改善センターが来年度に耐震改修工事を予定しており、その実施設計を事業として行っていく予定でございます。

鈴木花巻図書館長

3ページが一番上、読書活動推進事業です。

読書活動を推進していくために、様々な取り組みを進めてまいります。これも、コロナ禍でなかなか事業が実施できない期間がございました。特に新たな事業はございませんが、コロナ前と同様に市民それから子どもたちに対して読書活動推進をしていくための事業を計画しております。幼児から大人まで、様々な形で読書活動推進を実施していくという計画になっております。

事務局（梅原生涯
学習課長）

次は、図書館整備事業、重点といたしましては、昨年引き続き新花巻図書館整備基本計画試案検討会議を開催いたしまして、基本計画の試案内容、今年度は蔵書計画などの検討を行いたいと考えております。

鈴木花巻図書館長

7番の図書館改修事業です。

利用者が安全かつ快適に施設を使っていただけるように計画的に改修を実施するものですが、今年度は東和図書館の北側のトイレの改修を行っております。排水管に問題があり悪臭があるということで、そこを改善するための実施設計です。

花巻図書館改修ですが、これは先月の6月補正で予算をつけていただいたもので、花巻図書館の一部が建築基準法に適合していない部分があるということがわかったために、移動図書館車の車庫の増築部分の取り壊しですとか、会議室の天井を防火用の素材に取り替える等の改修をする予定になっております。以上です。

事務局（梅原生涯
学習課長）

続きまして、次の4ページ目になります。

青少年健全育成の推進というところで、青少年活動推進事業、こちらの本年度の重点といたしましては、はなまきおもしろ探検隊で参加者である小学生に対して様々な体験学習を通して健全育成を行うほか高校生ボランティアが活躍できる場を展開すること、また、20歳のつどいについては、今年度も実行委員会方式で開催する予定にしておりますが、この活動がスムーズなコミュニケーションを取れるように工夫していきたいというものでございます。

今年度のおもしろ探検隊ですけれども、今ちょうど第1回目が終

わったところですが、たくさんの小学生、あとボランティアに高校生も応募いただいております。こちらは、ようやく今年4年ぶりに宿泊キャンプも開催する予定でございます。

では、次の生涯学習に関連する事業です。

菊池豊議長

ちょっといいですか。今の資料を見ていただいていると、昨年と違う部分が右のほうに、令和6年度に向けたご意見等という欄があります。今、お聞きしながらですね、もし6年度にあった方がいいというようだったらメモしていただきながら聞いていただければ。

後ほど、この件については議題として審議いたしますので、よろしくをお願いします。

坊澤市民生活総合
相談センター所長

続きまして、少年センター運営事業でございます。

少年センターでは、少年の非行防止に向けまして少年補導委員85名によります街頭補導活動を実施しているところでございます。

月1、2回の実施それから夏休み、春休みの長期休暇に合わせて活動を実施していただいているところでございます。令和5年度における新規事業等はございません。以上でございます。

事務局（梅原生涯
学習課長）

続いて、3.国際化の推進の部分でございます。

最初に、国際都市推進事業です。これは、国際フェアや多文化共生サロンなどを開催することにより、市民の国際理解を推進するという事業でございます。

次の5ページ目ですが、国際姉妹都市等交流推進事業、こちらは海外姉妹都市や友好都市等へ中学生の派遣、そして受け入れを行う事業でございます。コロナ禍により、昨年度までは実際に海外に行ったり迎えたりということができず、オンライン交流のみにとどまっておりましたけれども、今年度は4年ぶりに中学生の派遣や受け入れの事業を実施しております。既に、ホットスプリングス市とラットランド市から中高生等を迎えておりますけれども、今週もホットスプリングス市の教員の方が本市を訪れて、いろいろ学校で交流を深めているところです。

続きまして、国内友好都市等交流推進事業。こちらは、友好都市であります平塚市や十和田市との交流を推進するという事業でございます。コロナ禍により海外はもちろん国内もなかなか自由に移動できませんでしたが、こちらも今年度は久しぶりに宿泊を伴う子どもたちの自然体験交流事業や市民ツアーなどを実施する予定です。先週、平塚市民ツアーも実施いたしまして、友好都市の交流を推進したところです。国際化の推進につきましては、以上になります。

菊池豊議長

それでは、続いてスポーツ振興、芸術文化振興についてです。一括して説明してもらって、その後それぞれ質問等いただきたいと思っております。まず、一括で説明をお願いします。

堀合範子副議長

それでは、2つ目のスポーツの振興について、新規事業とか主要な部分を中心に説明をお願いします。先ほど1枚もので、差し替え版としてお渡ししているものをご覧いただきたいと思います。それでは、よろしくをお願いします。

菅原スポーツ振興課長

はい。それでは、1. 生涯スポーツの推進ということで事業が2つございます。

まず、1つ目の地域スポーツ推進事業でございますが、今年度の重点といたしましては、スポーツ・レクリエーション指導者を配置して、だれでも楽しめるニュースポーツの普及を図るということと、市民の健康増進と体力づくりを図るため早起きマラソンやニュースポーツ交流大会、スポーツ教室などイベントを開催するというところでございます。

それから、2つ目が地域スポーツ支援事業でございます。

こちらは、それぞれの体育協会、スポーツ少年団へ補助金を交付して事業を実施していただくことにより、スポーツの振興を図るものでございます。

それから、2. 競技スポーツの推進の1つ目、競技スポーツ支援事業でございます。重点といたしましては、全国大会等へ出場する際の補助金の交付、あるいは市内で開催するスポーツ大会等に対して補助金を交付して、競技スポーツの振興を図るということでございます。また、指導者および選手養成のため指導者講習会の実施や、スポーツ大会の開催に対しても補助を行うということでございます。

今年度、開催する大きな大会としましては、第50回東北総合体育大会、こちら花巻市を会場に6競技予定しております。早速、始まりますのは7月14日から今までボートと言っていたのですが、ローイング競技です。それから、8月になりますと、サッカー、ハンドボール、ソフトボール、軟式野球、クレ射撃ということで6競技が花巻で開催予定になっております。

続きまして、2つ目の大規模スポーツ大会の開催でございますが、スポーツ大会・合宿誘致推進事業、こちらの重点としましては、はなまきスポーツコンベンションビューローへ補助金を交付することによりまして、大規模なスポーツ大会、あるいは合宿誘致の推進を図るということでございます。

引き続きローイング（ボート）日本代表の強化合宿を受け入れるための環境を整備するというところでございますが、ローイング（ボート）日本代表につきましては7月24日から田瀬湖で合宿に入るという連絡を受けておりまして、その準備をしているというところでございます。

それから、3つ目、こちらは新規といいますか復活という形にな

るのですが、はなまきベースボールフェスタ開催事業ということで、野球を通じた本市のPRと技術のレベルアップを図るために、プロ野球公式戦における花巻デーの実施、あるいは花巻市ゆかりのプロ野球選手による野球教室を開催するというものです。こちらは、8月2日に開催される埼玉西武ライオンズ対福岡ソフトバンクホークスの試合を、市内小・中学生の親子を対象に1泊2日のバスツアーということで実施することとしており、14組の申込があったところです。

また、埼玉西武ライオンズの選手につきましては、シーズンオフに富士大学で野球教室を開催するというので、今詳細を詰めているというところでございます。

それから、4つ目のスポーツ施設環境整備事業でございます。花巻市はスポーツ施設がたくさんございまして、それぞれ老朽化等が進んでいるところもございまして、快適な利用環境を整えるということで改修整備を行っていくものでございます。

今年度の事業につきましては、記載の通りでございます。

堀合範子副議長

それでは、最初の綴りに戻っていただきたいと思えます。続けます。最後に、3つ目の芸術文化の振興について説明をお願いいたします。

事務局（梅原生涯学習課長）

はい。では、ご説明いたします。8ページになります。芸術文化推進事業の部分で、①芸術文化推進事業は重点として例年小学生のためのアートセミナーに非常に多くの応募をいただいておりますので、今年度も開催日数や回数を増やすなどして対応していきたいと考えておりますし、市民芸術祭につきましては、これまでコロナで縮小ということもございましたので、計画どおりの実施を目指して展示部門の開催と合わせ、舞台発表の場を設けることにより、芸術文化活動の推進と市内芸術団体等の活動を支援することを重点としております。

続いて、同じ事業名で文化会館の自主事業②芸術文化推進事業なのですけれども、一般公演8事業のほか、学校団体鑑賞4事業、市民向け事業3事業を予定しておりますが、市民向けの事業のうち、音楽家の方が実際に小・中学校に出向いて演奏していただき、小中学生にも音楽体験をしていただくというアウトリーチに力を入れていきたいと考えておりますし、グランドピアノの無料体験や、文化会館の舞台のバックヤードツアーなどを行いまして、市民の皆さんに、より文化会館に足を運んでいただく取り組みをしていきたいというふうに考えてございます。

次に、③学校文化活動事業は、市民芸術祭に合わせて小中学生の作品展を行うというものでございます。これも、文化会館で開催するというものですので、芸術祭で児童生徒の舞台発表の場を設ける

などして、芸術文化活動への意欲の向上につなげたいというものでございます。

次、9ページになります。④美術普及活動推進事業、こちらは萬鉄五郎記念美術館で児童の写生会や萬鉄五郎祭などを行っております。そして、萬鉄五郎を顕彰する事業として、市民の芸術文化に対する関心や親しみを向上させるため、美術活動に取り組む機会の提供を重点にしております。

続いて、⑤萬鉄五郎美術館等整備事業。同じく萬鉄五郎記念美術館のことなのですが、整備事業、こちらは今年度萬鉄五郎記念美術館で空調設備の改修工事を実施する予定にしております。工期に合わせて、9月25日から1月12日まで休館する予定にしております。

続けて2.先人の顕彰ということで①先人顕彰推進事業です。

こちらは、各先人顕彰記念館、新渡戸記念館ですとかそういった記念館等を会場としている共同企画展や先人ギャラリー展につきまして、展示内容を工夫して、より幅広い世代に先人への興味を持っていただいて、各施設に足を運んでいただくきっかけ作りとしたいと考えております。

また、昨年度作成した、(本日)お手元にもお配りしております佐藤昌介の功績を描いた偉人マンガですが、こちらに関連した偉人マンガ展や関連事業を計画しております。

鈴木賢治まちづくり課長

はい、続きまして②宮沢賢治普及・啓発事業についてご説明いたします。こちらは、宮沢賢治イーハトーブ館で実施している事業になります。令和5年度の重点といたしましては、セミナー等の開催についてはオンライン、対面を併用して多くの方が参加できる環境づくりに取り組むことを重点に実施したいと考えております。

また、イーハトーブ館では今年度3つの企画展を計画しております。7月15日からは『『銀河鉄道の夜 四次稿編』複製原画展～ますむらひろしの新たな挑戦～』の開催を予定しており、7月29日にはますむらひろしさんの講演会およびサイン会を予定しております。以上です。

事務局 (梅原生涯学習課長)

それでは、次は③企画展示事業というところになります。

これは、花巻新渡戸記念館、萬鉄五郎記念美術館、博物館での企画展示事業になりまして、まず花巻新渡戸記念館での企画展示事業となりますけれども、今年度の企画展としましては、新渡戸稲造の著書展などを開催して、新渡戸家、あるいは稲造の魅力を発信する取り組みを行うことを重点としてございます。

それから、次に萬鉄五郎記念美術館につきましては、芸術文化に関心や親しみを感ずる市民を増加させるということを目的としまして、三つの企画展を予定しており、バランスのとれた展示を目指していくこととしております。

現在、萬鉄五郎記念美術館では安野光雅展を開催しております。例年、企画展は4回開催しているのですが、空調工事があるということで、今年度は昨年度より1回少なく3回開催します。

佐藤花巻市博物館
副館長

はい、11ページになります。博物館については、令和5年度特別展1展、テーマ展を4展開催する予定です。

その中で、特別展「日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家かがくいひろしの世界展」、こちらを今年の日玉企画ということで予定しております。9月30日から12月24日の3カ月弱の期間で開催する予定です。以上です。

鈴木賢治まちづくり
課長

それでは、生涯学習に関連する事業2. 先人顕彰①賢治のまちづくり推進事業についてご説明いたします。

こちらについて、今年度の重点につきましては新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類に移行したことから、宮沢賢治関連のセミナー、ワークショップ、企画展等について、感染症が拡大する以前の水準まで戻して実施するとともに、イベント開催等の情報収集、発信を行っていきたいと考えております。

また、童話村のライトアップにおいては新たな演出の試みや野外ステージを活用したイベントの開催と、期間中様々な団体企画に協力することによってライトアップの魅力向上を図ることを重点としております。

関連して、例年8月下旬に開催しておりますイーハトーブフェスティバルにつきましても、コロナ禍以前のように出演者生出演の集客イベントを開催したいと考えております。

そのほか、今年度は宮沢賢治没後90年ということで、改めて賢治と賢治のふるさと花巻の魅力を発信していきたいと考え宮沢賢治没後90年事業を予定しております。1つ目は既に開催しておりますが、映画「銀河鉄道の父」タイアップ事業、2つ目として、11月には宮沢賢治記念館で所蔵しております賢治のチェロを使用し「チェロでつづる宮沢賢治の世界」という事業を予定しております。以上です。

事務局（梅原生涯
学習課長）

12ページの②企画展示事業です。

こちらは、高村光太郎記念館と総合文化財センターになります。まず、高村光太郎記念館につきましては光太郎が花巻で過ごした7年間で描いた草木や花々のスケッチを紹介する企画展「山のスケッチ」を開催中でございます。また、企画展や関連行事などを通じて記念館を来館するきっかけとなるような事業を行っていききたいということを今年度の重点としております。

最後になりますが、総合文化財センターですが、今年度の企画展は、資料に書いてあるとおりですけれども、7月22日から「ほんものそっくり！粘土アート展」を開催いたします。各館でさまざま

な企画展やイベントを開催、計画しておりますので、ぜひ委員の皆さんにも足を運んでご覧いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

説明は以上でございます。

堀合範子副議長

はい、一括して説明をしていただきました。事務局のページ、私達がいただいた資料とページの表示が違いましたが、皆さん大丈夫でしょうか。それでは、ここから質問意見等をお受けしたいと思います。ページでなく項目に沿って、お話しいただきたいと思います。どこの部分でも構いませんので。はい、どうぞ。

菊池朋子委員

国際都市推進事業の中の国際フェア IN はなまきとありますが、日にちは決まっていますか。

事務局（梅原生涯学習課長）

まだ企画中で日にちは決まっておりません。ただ、去年は縮小して行ったのですが、今年はコロナ前のように開催したいと考えております。今、計画中です。

菊池朋子委員

ぜひ、興味がありますので子どもたちとの予定を立てるためなるべく開催2か月位前に日にちを形にしてもらえれば行きやすいと思いますので、よろしく願います。

堀合範子副議長

はい、そのほかには。

高橋福子委員

すいません、個々のことではなく令和5年度の事業計画をするにあたって、年度末に開催された前回の会議で「令和4年度の事業が全部終わらないところでどうだ。」というような意見を委員の皆さんが出したと思うのですが、そのうち少しでも今年度に反映されたものというのはあるのでしょうか。

例えば、ガールスカウトさんはキャンプ場の炊事場がって、それはお金がかかるので今年度は反映しかねるとは思いますけれども。あと、例えばコミュニティ会議で事業企画するとき、社会教育の研修をしてはいかがでしょうかというような意見は、この中に入っていないというふうに捉えています。

堀合範子副議長

事務局願います。

事務局（梅原生涯学習課長）

はい、前回のご意見も踏まえて、予算編成できるよう今の時期に6年度へ向けたご意見を伺おうということで、今回のような資料構成としました。

あと、コミュニティ会議の皆さんの社会教育に対する研修等なのですが、どうしてもコミュニティ会議の皆さんも日程が合いづらいということもあります。今、県の生涯学習推進センターでもいろいろな研修をしております、ご案内を都度皆さんにアナウンスしておりますので、ご都合のあうところへ行っていたきたいと考えております。

そのほか、3回位生涯学習の担当者研修も行いたいと思っております、現在計画中的なのですけれども、社会教育に関する基本的な部分

の研修は、生涯学習推進センター等のさまざまな機関で行っている研修の中で、ご自分の日程に合うところに行っていただくような感じにしたいと思っています。

堀合範子副議長

よろしいでしょうか。そのほか令和5年度の主な事業計画についての説明に関連して、質問ご意見おありでしたらお願いいたします。

はい、福盛田委員。

福盛田委員

はい。私の方から、芸術文化の振興というところ2ページを見ていただいて、この偉人マンガ展のことでお聞きしたいと思いますが、前回の社会教育委員会議の中で、佐藤昌介の偉人マンガの配布をお願いしたところ、快く今日皆さんのお手元に配布していただきました。議長さんはじめご配慮いただきましてありがとうございます。内容を見て、どんなものか皆さん興味をもっていただいて、花巻の文化についてそんなところもこれから勉強していただきたい。大いに活かしていただきたいと思います。

この中で、今度パネル展を企画して各図書館や文化会館、各図書館をまわって巡回されるようですが、そのだつくしさんのトーイベントが予定されているのですが、日程は決まっているのですか。

事務局（梅原生涯学習課長）

はい、偉人マンガ展は文化会館で行いまして、巡回展は計画しておらず、文化会館の展示ホールで開催する予定にしています。7月27日から8月21日までです。そのだつくしさんのトークイベントについては、8月6日に予定しておりまして、時間等の詳細についてはもう少ししたら詳しくお知らせできると思います。

堀合範子副議長

はい、よろしいでしょうか。

福盛田委員

はい、ありがとうございます。8月の6日だとすればあと何日もないから、こういうふうなところで周知していただいて、皆さんが参加できるようなPRをしていただきたいと思います。以上です。ありがとうございます。

堀合範子副議長

はい、高橋委員どうぞ。

高橋典人委員

すいません、関連して佐藤昌介の偉人マンガですが、私は、地域コーディネーターとして東和小学校に勤務しているのですが、普段は、図書室で本の整備や新刊の受け入れとか、除籍の作業をしているのですが図書担当の先生が困った顔で言ってきたんですけども。

「いきなりこれが送られてきました。どういうふうに使ったらいいのですか。」と言われて。いや、偉人ですからと。しかも40冊なんですね。「どういうふうに使って授業に活かすのですか。子どもに貸すのですか。」と聞かれて。「いや、子どもに見えるようにしましょう。」というふうな形で、全部受け入れ作業をして、貸し出しができるよう閲覧できるようにしましたけど。「40冊送ります、活用してください。」という一文だけ添書にありまして。これをどう使ってほし

いとか、子どもたちにどういふふうにしてほしいとかの一文がなくて。ただ、「寄贈しますのでご活用ください。」だけだと、担当する先生も困ると思うのですよ。私も困りました、どう活用しようかと。そういうところまで考えて、電話でもいいですから「こういうものを送りましたので、このように活用していただいけませんか。」というものがあれば、担当の先生も助かったと思うので、ぜひそういう細かい部分の配慮をしていただければと思います。

あと、スポーツ振興のところですけども、今学校は生徒の数が減って部活動の状況も厳しいものになっています。地域スポーツということが言われるようになってきておりますが、例えば、今の高校野球でも毎年チーム数が減って、連合チームが増えている状態なので、今すぐではないですが地域と学校が一緒になって子どもがやりたいスポーツをできる体制づくりというのが、スポーツ振興としては大事な考え方ではないかと思っておりますので、6年度以降少しづつでいいのでそういう視点も考えていただければと思います。以上です。

堀合範子副議長
事務局（梅原生涯
学習課長）

それでは、先に偉人マンガの活用等について。
佐藤昌介物語をマンガにする際に、作成委員会の委員を何人かにお願いしてございまして、その中に学校の先生方も入っていらっしやいましたので、どのように学校で使っていただきたいかお話ししながらというところもございましたが、それが全体の学校へ伝わっていなかったと（感じております）。あと、お送りする際の添書に「授業等にお使いいただければ。」と一文添えていたのですが、あまり目立っていなかったのかもしれないと感じましたので、次回同じようなことをするときにはきちんと気をつけながらやりたいと思っております。

堀合範子副議長

高橋委員、よろしいでしょうか。
40冊というところが、ちょうど1学級使える冊数になっておりますので、学校でもよろしくお願いいいたします。そのほか、質問意見ありませんでしょうか。

菅原スポーツ振興
課長

高橋委員の質問後半について、スポーツ振興課長お願ひします。
部活動の関係でございまして、地域移行については教育委員会の学校教育課が中心になって進めてございまして、私も部活動のあり方検討会議の委員になっております。

これにつきましては、計画が素案の段階ではありますが出来上がっております、学校教育課で最終の調整を行っているところでございます。地域移行ということですが、地域でのみならず、受け皿がいろいろあると思っております。例えば、スポ少ですね。あるいは、父母会が担うという学校もあるようです。今年度については、二つの中学校をモデル校として設定しております。さまざまな形態が考えられま

すので、それぞれの学校に合った形で進めていくということになるものと思っております。

堀合範子副議長
菊池清委員

よろしいでしょうか。そのほかございませんでしょうか。

菊池です。スポーツ施設環境整備事業のところで、いっぱい今回整備するところがありましたけど、それ毎年たぶんあると思うのですが、それはどちらかという改修など軽微な部分が記載されていますが、もう少し大がかりな整備は計画されているのでしょうか。スポーツに限らず、毎年計画的にできればいいことだし、軽微な部分を改修するのはもちろんですが、大きいところや何年後に改修が必要という全体的な計画は持っているのでしょうか

それからもう一つ、国際交流のところでして、昨年度も本会議で話したと思います。多文化共生サロンといういろいろな方と交流できる場があるということは、大変いいことだと思います。

例えば、他市の例ですと言語が分かる方が病院へ付き添ってくれたり、生活面を助けてくれるという取り組みもあります。市で行う考えはないでしょうか。

堀合範子副議長
菅原スポーツ振興
課長

では、前半のスポーツの施設整備に関わって。

はい、スポーツ施設の整備計画ですが、資料に記載しているのは大きな改修でございます。細かく見えるかもしれませんが、1つ1つ金額が大きく、スポーツ振興課だけで2億8000万円位はあります。一番大きいのは、花巻球場の整備ですが1億数千万ということになっております。いずれ老朽化が進んでおりますので、細かい改修等を含めて計画的に改修していかなければならないということです。現在、全部のスポーツ施設について、細かい改修まで対応すると、どの程度の時間や予算がかかるのかを確認しているところです。新たに、大きい施設を建設する計画は今のところはございません。既存施設を長期に使用するため、順次改修して使っていくこととなります。

菊池清委員

ごめんなさい、スポーツだけに限らずすべての施設にいえることとなります。ありがとうございます。

堀合範子副議長

それでは、国際交流に関わる先ほどのご質問についてお願いします。

事務局（梅原生涯
学習課長）

お答えします。病院にかかるときにちょっと困っているというご意見は、多文化共生推進プランを昨年度策定した際にも伺っております。

実は、県の国際交流協会で、病院に行ったときに、英語や多言語で翻訳するサービスがございまして、それを活用できれば翻訳しながら受診できるのですが、サービスの認知度が低く、医療機関になかなか広まっていなくて、どのように進めていけばいいかについては担当者とも課題共有しております。県のそういったサービスの利

用を促していきたいと考えておりますが、現時点、市がそのようなサービスを行うことについては検討しておりません。

堀合範子副議長

いろいろな国からやってくるわけですが、県の支援も活用できるものは活用するとして、今後進めていただければと思います。

菊池豊議長

では、施設の意見が出ましたが、社会教育施設は多くが避難所になっていると思うのですが、これから様々な災害の可能性が高くなります。避難所としてのいろいろなものを備蓄しておくとか、対応や避難所の指定について。

菅原スポーツ振興課長

それでは、以前防災危機管理課におりましたので、私の方から回答させていただきます。

社会教育施設のうち、それぞれの振興センターが指定緊急避難場所になっていますし、小学校や中学校の体育館が指定緊急避難場所になっているところもございます。

指定緊急避難場所で備蓄品を置くところがない場合は敷地をお借りして、防災危機管理課でプレハブ倉庫を設置し備蓄品を保管しています。

指定緊急避難場所というのは、警報が発表され、「高齢者等避難」等の避難情報が発令された際に一番先に避難する場所です。実際に災害が起きた後、避難所として設置されるのが指定避難所であり、市民体育館や総合体育館が指定避難所となっています。そういったところには、備蓄品を保管しておりません。

菊池豊議長

万全を尽くしてほしいと思いますね。

菅原スポーツ振興課長

指定緊急避難場所への備蓄品の配置はすべて終わっており、皆さんが避難した時にすぐ活用できる状況は、整っております。

指定避難所は、災害が起きた後になりますので、どこにどういう避難所を設置するかによっても対応が異なります。

小国委員

公民館大会の案内等をいただくのですが、花巻の公民館の実態はどうなっているのか知りたいのですが。大迫町だと集落毎に50軒規模位の公民館がどこにもあります。各自活動しているわけですが、実態が大迫町ぶんしかわからないものですから、花巻市全体でもこういう活動をされているのか。さらに、公民館が社会教育と生涯学習に入っているものなのか、その立ち位置ですね。

大迫町の例ですが、自治公民館があってその上に地区公民館、これが旧村単位ですね。その上に町の公民館、そこから県になって全国と組織化されるわけですが、花巻市の公民館活動は、どういうふう扱いになっているのかちょっと聞きたいです。

事務局（市川生涯学習部長）

今、言われたのはいわゆる自治公民館ですよ。地域にある公民館。法的に公民館というのは、公立のもので市がつくるのが公民館。自治公民館というのは、あくまでも自分たち地域でやっている公民館の活動ということになります。

花巻市は、大迫も含めて公立の公民館という施設はありません。振興センターになりました。公民館ではなくて振興センターとなっていて、現在自治公民館も含めて地域づくりの拠点ということで、地域振興部で管轄していることとなっています。前は、生涯学習課の管轄の中に自治公民館があり、生涯学習部で地域の公民館と一緒にやってきたという経緯もあります。

現在は、自治公民館は地域づくりの拠点・施設という考え方で位置づけになっていますが、やっていることは、4地域を通して小さな公民館単位で、講座やぎくばらんといえば祭りの準備とか、そういう活動も生涯学習ですね。子どもたちと一緒に地域づくり、地域を維持していくための生涯学習的な活動を行いながら、地域づくりをやっている。いわゆる公民館活動ですけれども、花巻地域でも当然生涯学習的な講座とかサークル活動をやっているような自治公民館もたくさんあります。

小国委員

市全体に自治公民館はあるということですね。

事務局（市川生涯学習部長）

はい、あります。伊藤委員がご存じだと思いますけど、自治公民館の協議会というのがございます。花巻地域、ほかの地域も入っていたと思いますけれど、自治公民館の館長さん方の協議会というものもありまして、皆さん活動や研修などを行ったりして、それは先ほど言ったとおり地域振興部で管轄している団体があります。

小国委員

地域振興部でやっているけれども、いわゆる社会教育要するに私たちに公民館大会の案内をよこすということは、自治公民館も生涯学習いわゆる社会教育の一部という位置づけですよ。

そこがこれに入ってきていませんし、そのすみ分けは要するに組織的には自治公民館の他にも、いわゆる行政の公民館の大会があるのだと思いますけれども、そのような大会があっても社会教育委員としては無関係ではないかと。要はこの大会の案内いただいても、接してないよねという、今の状態では。

事務局（市川生涯学習部長）

わかりづらいかもしれませんが、例えば地域でやっている生涯学習活動は社会教育委員の皆様にお知らせしていますし、ご意見いただいているという考え方。今日も資料で、例えば地域でやっている生涯学習事業、各コミュニティとかでやっているものもお配りしております。

その下の自治公民館でやっている単位のものまでは、なかなか把握していませんのでそこまではわかりません。市でわかる範囲で公民館活動も社会教育に入りますから、社会教育委員の皆様はその社会教育法上関わる関係あるものについてはお知らせしているというつもりです。

堀合範子副議長

いいですか、よろしいですか。伊藤委員、これについて何か。自治公民館について。

伊藤委員

花巻の自治公民館というのは、連絡協議会という形でやっています。合併前は、今の振興センターが昔の公民館だったのですよね。合併してから、直接公民館は連絡協議会になって、花巻地域で現在167館。協議会をつくるために、石鳥谷・東和・大迫地域へも声をかけたのですが、なかなか内容が違うのですよね。呼びかけても、独自にやるからいいよということで。東和もですけども、今我々協議会で色々研修会をやったりしていますが、石鳥谷は参加していません。

生涯学習もすべて振興センターを通じて、市からの補助でいろいろな活動を行っています。振興センターと名前が変わったからといって、なかなか公民館活動ができないように感じますが、自治公民館でも一応市からの補助があって活動しています。

しかし、自治公民館ですからね。温度差がいっぱいあります。よく活動できるところ、なかなか小さく活動できないところ。ですから、協議会という形でやっています。協議会に入ると、いろいろと生涯学習のイメージも共有できるし、活動も見えてきます。そういう協議会に入っていないと難しい、わからない。ですから、3地域へ呼びかけたのですが、なかなか一緒になれない状態です。招待する格好で活動しております。

堀合範子副議長

小国委員、よろしいでしょうか。

小国委員

はい。

堀合範子副議長

それでは(2)の方に移ってよろしいでしょうか。

令和6年度の生涯学習・社会教育事業について、議長が先ほど令和6年度へのご意見を見据えて5年度の事業計画について聞いてほしいということを冒頭で話しておりましたが、令和6年度はこのようにやっていただきたいとか、今の時点で出せばあるいは予算化に反映できて、実現も可能という時期であるということをお示ししておりました。

高橋福子委員

生涯学習の計画の指標は、ちょっとこういう細かいことではなくて、生涯学習に参加する市民の割合が大きい指標になっているのですが、花巻市の指標は4割の下をずっと推移している気がして、どういうふうに社会教育というか生涯学習に参加して、きっかけづくりとなる場を提供するというふうな書かれ方をしているのですが、やっぱり今の社会課題をきちんと学んでもらうという講座も必要なのではないかなというふうに思います。

ちょっとホームページを見ても、高齢者学級でどういうメニューで学習しているか、女性学級のメニューが10回なら10回どんなメニュー内容かというのが、すぐちょっとホームページから入っていけなかったのが、内容を確認できなかったのですが、私、昨年度このイーハトーブカレッジに参加したんですね。平日の夜、それも冬

場の夜に開催されたのですけれども、大学の先生が岩大とか盛大とから来て、今学んでほしいような内容の講座、例えばジェンダー平等やSDGs。今さら聞けないSDGsのような講座で、結構若い方もいらしてたんですね。

若い方が生涯学習の講座に参加しないとおっしゃるのであれば、オンライン講座をしてみるのはどうでしょうか。大学の先生もわざわざ来なくても、オンラインで大学から講義できるし参加者も参加できるので、少しきっかけよりもうちよっと深く社会課題を学びたいなというような。楽しく学ぶことから、やっぱり社会の課題を学ぶというような講座も少しはあってもいいのではないかなというふうに思うので、ちょっとオンラインの講座を検討してはいかがでしょうか。

堀合範子副議長
事務局（梅原生涯
学習課長）

事務局お願いします。

はい、検討したいと思います。

オンライン講座と社会の課題を学ぶようなことというのは、今大学の先生方の講座でしかやっていないということがありますので、そこは来年度に向けて検討させていただきたいと思います。

堀合範子副議長
高橋福子委員
菊池豊議長

高橋委員よろしいでしょうか。

はい。

今の高橋委員の意見は、非常に生涯学習を考える場合貴重なご意見ですね。何々を学ぶとか、資格を得るとかこういうのも生涯学習なのですが、今の社会の課題ということ学ぶことも大事なことでそれを解決するにはどうすればいいか。参加した皆さんももちろんですけれども、それを地域で考えて解決していくというふうな方向に向かうというところが、生涯学習の上で非常に重要なことだと思うのですよね。

ですから、先ほど花巻市の制度的な話が出たのですが、こういった生涯学習というものを市長部局の方へ持ってきたというのも、生涯学習を通じて、地域の課題解決に向けていくという市民の意見を取りながらという方向性を探っていくのであれば、非常にいい制度だなと思うのですね。

ただ、公民館機能からいうとちょっと曖昧なところがありますよね。普通は、中学校学区に1個の公民館ということで、公民館が設置されたのですが、今中学校の数が減って公民館の数の方が多いのかなというふうな感じがするのですが。そういったような公民館機能に期待したのですが。ただ、今は広域になってきていますから、なかなか地域のことにも目を向けるというのが非常に難しいような情勢になっています。ですから、それぞれの社会課題というのを取り上げてというのはちょっと今、どちらかというと遠ざかっているような感じがしますので、地域に目を向けるという機会として非常

に良い機会だなというふうに思います。そういったふうな方向性で考えていけば、地域が少し活性化していくのかなというふうに思います。

堀合範子副議長

では、6年度に向けてご意見をいただいているところですが、ほかにありませんでしょうか。

高橋典人委員

図書館の視聴覚教育推進事業の方で、それこそ16ミリも含めて、アーカイブ事業ですね、VHSとかβとかのビデオテープとかそういうのは進めているのですよね。どんどん今使われている媒体に移行しているのかということです。そういうことをやっているのか。これから、やろうとしているのか。

例えば、VHSの番組とか普通の映像をDVDにするとか、多分そういう形で今の機械で使えるように、利用できるように変えることを進めているのかというのが、特にも学校もそうですけど課題ですよ。せっかくある資源が、そのまま古くて使えなくなってしまうたら困るので、そういう作業をこれから考えていかれてはどうでしょうか。

事務局（梅原生涯学習課長）

3月まで図書館長でしたので（私から答えます）。著作権の問題もあるのですが、市の教育委員会で作った郷土芸能の関係とか、そういうものでVHSのビデオだったものは、年間の計画を立てて、3年かけてDVDの媒体に変換するという事業をやっていました。ちょうど一昨年くらい前ですけれども、著作権の問題のない、教育委員会で作った神楽だったり、あと郷土の風習だったりとかそういうものを全部変換するのは終わりました。

ただ、映画とかそういったものはどうしても著作権の問題があって、なかなか市で自由にできないことがあります。教育委員会で作ったものは、まずこちらで出来そうなものの変換作業は終わったところです。

高橋典人委員

はい、ありがとうございます。

私も16ミリは関わったことがあるので、1本大体30分の映画でも30万とか40万しますので、あれが使えなくなるとすごくもったいないということになるので、なんとか変換できればいいなということ。個人が持っていれば、そのとおりに著作権に引っかかると思うのですが、公立の部分は公共の部分なので、何かしら方法もあるのではないかなと思うので、要望を出したりしてやっていくと、もしかしたら叶うかなと思っています。

あと、二つ目ですが、地域コーディネーターの研修会のですが、各学校の図書室はバーコード化しているのですよね。バーコード入力、多読賞とかをすぐパソコンから出力できるのです。今度、市の公立図書館の方でもコンピュータ化して1人の人が読んだ冊数が分かるようにというシステムを作るところという話を聞いた

のです。そのときに私も要望を出したのですけれども、せっかくだったら、学校の学校図書館と、市の公立図書館のシステムがリンクして、1人の人が学校で読んでも市の図書館で読んでも冊数が分かるようにしてほしいと要望を出したのですよ。もし、パソコンのシステムが違えば、せっかくの記録がいちいち二重になってしまうわけですよ。なので、要望として将来進めて今でなくてもいいです。今後も多読賞という形をとるのであれば、生徒一人が冊数、何冊読んだとよく話題になるのですけれども、それが例えば小学校6年生の子供が、学校の図書館で読んだ冊数と花巻図書館で読んだ冊数がリンクして合計がすぐに出せるような形になればいいなという部分を要望したのですが、これは教育委員会とももちろん連携してやらないと無理な部分なのですけども、バラバラなのです。学校は学校で多読賞を出しました。花巻市の市立図書館では、この子供は多読賞でしたと出すのですけれども、せっかくやるのならば、一つにした方がいいと思うので将来的にそういうところも考えていただければと思います。

鈴木花巻図書館長 システムが違うというのは、聞いておりますので、技術的に可能かどうかを確認の上で検討してまいります。ありがとうございます。

堀合範子副議長 図書館のネットワーク化について、今後公立図書館と小中学校の連携を図れるようにというお話でした。

大竹委員 1ページの生涯学習活動支援事業なのですが、ふれあい出前講座をコミュニティとかそれこそ公民館でいろいろ学習とか研修を計画するときに、出していただいている講座のパンフレットを見るのですが、現実的に講演していただいたらちょっとこちらの思惑と違っていたというようなことがあったり、一致する部分をどうやったら探せるのだろうかというのをずっと考えていました。

できれば、出前講座に登録してある方のごく一部でいいのですけれども、講義内容、講義をしているところだとかそういったものが確認できるようなものがあれば、同じような内容で講師の紹介が出ているけれども、私達の場合は今こちらの講師の方をお願いした方がいいなという判断ができると思うのですけれども。ちょっと、こちらが考えていることと違うスタンスで進められると「あー、失敗したな。」というようなことがたまにあるものですから。そういう選べる何か要素が欲しいなと思うのですが、そういうことは可能なのでしょうか。

高橋典人委員 私が答えていいですか、講師なので。

事務局(市川生涯学習部長) では、ご意見をどうぞ。

高橋典人委員

すいません。私も生涯学習講師ですので。私は、ふれあい出前講座に4つの教室をもっています。1つ目はコーヒーの入れ方教室、2つ目はネイチャーゲーム、3つ目は初めての方のアウトドア教室、それから人間、ゲームを通じた人間関係作りということで構成的グループエンカウンターという四つの教室を持っています。必ず、コーヒー教室をしたい、調べたいのですけれどもという人もいましたけどね。アウトドア教室の問い合わせが今2件来ていて。

必ずどういう内容で希望しますかと聞きます。実際、例えばいきなり30人でということもあります。それはちょっと難しいですし、私のところではこれとこれとこれができますよという形でまずコミュニケーションをとって、それから依頼を受けるかあるいは検討しますという場合もありますので。やっぱり、チラシのあの短い文言の中でやるのもただ「お願いします。」と言われても、こっちで考えている内容と依頼された方の内容は違う、そのとおりです。

だから、必ず例えばコーヒー教室をお願いしますと言ってくださって、どういう内容で私たちはこういうことも頼んでいますよということを伝えていただければ、講師の先生方はちゃんと教えてくれると思いますので、そういう形だといいと思います。

堀合範子副議長

講師の方が隣におりました。大竹委員、事前の打ち合わせといたしますか要望といたしますか、講師に伝えてほしいという講師側からの意見もありましたが。

大竹委員

「一応、希望はこういう状況でどういう職種の人が来て、何人ぐらいの内容です。趣旨はボランティアに関してのことなのですが。」ということで話をしたりするときもあれば、具体的にコーヒーの入れ方とか、私達もやったことありますけれどもそういった実際にやる時は人数とかどういったことをやるかというのは大体想像ができます。

ただ、言葉で研修をするというか、ご自分の考えを話す方、話す内容の講師の方の場合ですね。同じくそれこそ「公民館でみんなの意識を高めるためにどうしたらいいでしょうか。」という質問をしたときに、「出前講座のこの辺がいいのではないですか。」と紹介されますよね。そうすると文言を見ていて「この方だな、こういう方はどうでしょうか。」と言うと、「ちょっと難しいかもしれませんね。」というときもあれば「いいのではないですか。」という場合もあれば、仲介された方にお話をするというのがほとんど。直接というのは後で「私が講師です。いついつ伺います。」みたいな感じでのやり取りだったものですから。もう少し何か選ぶ、選ぶと言うと失礼ですけど、自分たちにマッチしているような内容でやっているのだろうかというのが見えるような。そういう何かがあればいいな

というふうに思います。結構、活用していると思うのですよ、出前講座。

堀合範子副議長

令和4年度も公共編は54回やっているということもありましたし、生涯学習講師であれば207回となっておりますので。大竹委員がおっしゃるのは、もうちょっと詳しい講師についての何か紹介文とありますか、そういったものがないかということですね。

高橋福子委員

すいません。私も生涯学習講師を登録していますので。あまり仲介されて頼まれることがないので、直接「こういう中身で、今度女性の人たちの学習会をしたいのですけど。」と行って。「どんな感じでしたいのですか。」「全くおまかせします。」というグループもありますけど、例えば、防災ですと「こういうふうには防災の基礎的なことを説明したら、非常食を作ってみるっていうのもありますし、あとは簡易トイレを作ったりもしますので、どちらがいいですか。」と。

依頼した人が何をしたいかで何を持っていくかと考えると思うので、遠慮しないで中身を伺ったらいいかなど。それで「頼むか頼まないかはわからないけれど、聞いてみて検討するので中身は何ですか。」と聞かれることもあるので、遠慮しないで中身を聞いた方が。あの小さいただの題名とどんな感じという、なかなか中身まではわからないと思うので。遠慮せず伺ってみて「こういう話をしてほしい。」というふうにお伝えする方がいいのではないかと思います。

事務局（市川生涯学習部長）

すいません。ホームページですね、「はなまきまなびガイド」というところがあって、講師でこのふれあい出前講座の表以上に書いてあるものもございます。ただ、これちゃんと書いてある方と書いていない方がいますし、やっぱり不安な方にはそれをご覧いただけるようにして。1回見ていただいて講師の人と連絡を取り合いながらやるというのもいいでしょうし、「そこまでじゃなくていいです。」という方であればそのまま申し込むというのもできるかなと思いますので、言ってください。ガイドのホームページ上には、もうちょっと詳しく書いてありますので。それを見ていただけるようにしていければいいかなと思います。

大竹委員

わかりました、はい。

堀合範子副議長

そのほかはございませんでしょうか。はい、高橋委員。

高橋福子委員

1人で喋っていてちょっと恐縮なのですが、さっきの防災の絡みで国際交流の事業の範囲で、本当に交流とか理解というところで止まっているものなのか。花巻に住んでらっしゃる外国人の方で、ちゃんと住民になって地域でお付き合いをしている方もいらっしゃいますし、企業の研修の方であまりその企業の方々以外とは交流しないという方もいらっしゃるのですが、何か起きたときにこの方々はどうか

って避難所に行ったりするのかなど。やっぱり、今防災も多文化の言語で伝えるというようなことをしないと、取り残される。情報が行かないというようなこともあるので。国際交流だけでやるのではなくて、防災危機管理課の方も入れてそういった対応のある方の防災というところで、多文化共生サロンにちょっと入れていただくと。でも、そういう方にそういう情報が届かないかもしれないですけど、研修先の企業さんだけに任せるといって、本当に「集中的に雨がたくさん降ったりしたときに、どこに行ったらいいのだろう。」というようなことは、なかなか住んでらっしゃる方にはわからないのではないかと思いますので検討していただければと思います。

事務局（梅原生涯
学習課長）

多文化共生推進プランを策定したときにもやはりいろいろなご意見をいただきまして。今、いろいろな国籍の方が花巻にいらして、一時期ベトナムの方が多かったのが、今はミャンマーだったりとか、国籍がいろいろいらっしゃると、使う言葉もとても数が多くなるので、それぞれにあった多国語というよりは、やさしい日本語で防災のことですとか、いろいろなことをやっていけないかなというふうに今検討しているところです。

それで、最初に市役所の職員向けにやさしい日本語を使った防災時の多文化共生の関係の研修を開催するなど、そういったことを企画しています。それを、今度は地域に広げていくのは、ちょっと国際交流室だけでは難しい部分があるのでどんなふうにかかるといって検討し始めています。

ただ、本当に色々な言語を使っていらっしゃるので、まずはやさしい日本語を使ってわかりやすい表示ですとかご案内ですとか、そういったことを考えているところです。

（ご意見を）参考にしたいと思います。ありがとうございます。

堀合範子副議長
似内委員

そのほか、はい。

はい、すいません。スポーツの振興に関することですが、私も地元の体育協会に10年ほど携わっております。やはり、コロナ前とコロナ後ですね。かなり、この3年間ほどいろいろな行事が中止になっております。地元の方々も「コロナが明けたからやりましょう。」と言っても、実際はもう腰が重いということが実態だと思います。

それから、花巻の特色ですね、ちょうど大谷翔平とか菊池雄星とか。今、日本全国から岩手県、特に花巻市は期待されている、かなりクローズアップされているかと思いますが。スポーツをやるというものの起爆剤ですね。例えば、大谷翔平とか、菊池雄星とかシーズンオフでしか呼べないかと思っておりますけれども、呼んで皆さんがスポーツをするというようなイベント。夢と言ってしまえば夢のような形だと思いますが、なかなか呼べないかと思っておりますが、そういう

夢のある企画があればと思って質問させていただきます。

菅原スポーツ振興
課長

はい。そのとおり、大谷翔平選手や菊池雄星投手がメジャーで活躍されておりまして、花巻東高校出身ということで、花巻をPRしていただいている状況です。確かに、そういった方々を呼べれば注目を浴びることになると思うのですがなかなか難しいものと考えているところがございます。まずは、先ほどもお話ししましたけれども、今回久々に銀河鉄道ナイターを開催することとしております。埼玉西武ライオンズには花巻ゆかりの選手がたくさんいらっしゃいますので、まずは来ていただいて野球教室を開催することを考えております。実際に花巻出身のプロ野球選手は読売ジャイアンツとか福岡ソフトバンクホークスとかにもいらっしゃいますので、だんだん広げていければと考えております。

似内委員
堀合範子副議長

ありがとうございます。

そのほか、来年度に向けて何かこうしてほしいというところご発言をいただいて。

まだ、ご発言いただいている方は。浅沼委員は何かありませんでしょうか。まあ、無理にとは言いませんけれども。よろしいですか。はい、お隣の佐藤委員はいかがでしょうか。

佐藤委員

はい、せっくなのでよろしく申し上げます。スポーツの振興に関わる部分であるのですけれども、私どもの団体でも昨年65周年の記念事業ということで総合体育館を活用させていただいたのですが、ものすごく予約が取りにくいですよね。例えば、今でいくと10月から翌3月までの予約を2月の調整会議で取らなきゃいけないという状況です。いざ、応募してみると大体もう裏で決まっているという。花巻市民が週末にそこを借りることができないというのはどうなのかなと思っていたのですけれども。何か6年度に向けてそういったところが改善されるといいなと思うのですが、いかがでしょうか。

菅原スポーツ振興
課長

総合体育館の予約については、ご存知の通り利用調整会議を年に2回開催しておりまして、大きな大会等の予約が重なった場合には各団体間での協議の上ということで、抽選ではなく協議の上で決めております。ほとんどの土日はおっしゃったとおり各種大会等で埋まってしまう状況となっております。総合体育館は、交通の便とか宿泊など、いろいろな面で非常に重宝される施設になっており、どうしても県の大会とか東北の大会とかが次々と入ってくる状況になっております。

市民の皆様が一番使っていただきたい施設なのですが、なかなか使われていない状況になっているということで、その部分については痛し痒しというか。大規模な大会を呼んで盛り上げるという面もありますので。

実際に、予約が重なった場合に抽選ということも考えられるかもしれませんが、どのような方法で調整するかというのは、利用団体の皆様の意見等も聞きながら対応していく必要があるものと考えております。

佐藤委員

はい、ありがとうございます。

堀合範子副議長

はい、ほかには。それでは久保田委員もしありましたら。

久保田委員

特にありません。

堀合範子副議長

それでは（２）の令和６年度へ向けてのご意見というのは、以上でよろしいでしょうか。それでは（３）に入らせていただきます。それでは部長の方からお願いします。

事務局（市川生涯
学習部長）

それでは（３）のその他でありますけども、新しい図書館の整備についての状況について少しだけご報告させていただきたいと思っております。この間の６月に開催されました市議会においても答弁しております、その状況と同じであります。これまでも社会教育委員会会議の中でご説明してきておりましたが、市民説明会をしてきた中で、建設候補地はおおむね２か所、総合花巻病院跡地とＪＲ花巻駅前のスポーツ用品店の場所ということで、そのスポーツ用品店の場所はＪＲ東日本が所有している土地でありまして、ＪＲ東日本に売ってもらえないかということをお話したいというようにお話を市民説明会で行ってきたところであります。ＪＲ東日本は、基本的にはそもそも売りたいという状況の中で、市が市民を含めた市の意向が明確になった段階で、協議に応じてもいいというようにお話だったのですけれども、今回先月６月に、まだ市の状況が明確に駅前というふうに決めたわけではないけれども、協議をしていただけないかという説明をしてきた中で、協議に応じてもいいという回答をいただきました。今後、中身を協議した上で検討できるというふうになった場合には、これまでお話ししておりますけども、前回市民説明会をした中では、病院跡地に建てる場合と駅前に建てる場合で、事業費がどれだけ、どちらがどんな感じになるのというのがわからないと比較できないのではという意見もありましたので、きちんと金額を示して調査、それを議会にかけて予算を組んで調査するというふうなことも考えているのですけども、調査した上で、また市民の皆様にお示ししたいというふうに考えています。

これについては、市議会でもお話したものでございまして、今後ＪＲと協議した上でですが、具体的に比較できるようなものを作って市民の皆様にお示しした上で、基本計画、具体的な図書館をつくる計画を定めていきたいというふうな状況になっております。

以上、状況のご報告ということでございます。

堀合範子副議長

報告ということでしたが、よろしいですね。

それでは皆さんの方から、そのほか何かありませんでしょうか。

小国委員 先ほど、話聞いたときにちょっと忘れましたので、5のその他に関係してきて、いつも思っているのですけれども、こういう大会とか出るときに、自費ではなくて公費で、出来ればマイクロバスでも準備していただいて、参加しませんかという方法にするために、来年度の予算要求に日当やら旅費とかを要求していただければなという意見です。

事務局（梅原生涯学習課長） ありがとうございます。
検討したいと思いますが、ただ来年度は花巻市が会場となりますので、花巻市以外の会場のときに検討させていただきたいと思います。

堀合範子副議長 よろしいでしょうか。今お話しした来年度については大きい5のその他のところに載っておりますので、後で事務局から話があると思います。

菊池豊議長 あ、県外なんかはどうでしょう。県外の大会にいきたいというのは、今検討する対象になる。県内は、今言ったとおり来年は花巻となるようですが、県外の全国大会とか案内が来ますよね。それにしたいという場合は自費ですか。

事務局（市川生涯学習部長） 今はそうですけど、それも含めてということですよ。検討しないですよ。

菊池豊議長 案内だけは来るのですが。大会参加費から旅費から考えると多分、よっぽど興味ある人しかいきませんよね。そういうところも例えば毎年、社会教育委員から一人派遣するとか二人派遣するとか、そういった予算措置を取ってもらえば参加したい人がいるのではないかなと思います。

堀合範子副議長 検討してほしいという要望ですね。

5 その他

事務局（菊池生涯学習課長補佐） 菊池議長、堀合副議長進行ありがとうございます。
続きまして、先ほどからもうすでに入っている状況でございますけど、大きな5のその他という部分に入らせていただきます。そのとおりに先ほど議長からもありましたが、こういった大会東北の大会もありますし、全国大会も毎年ご案内が来ておりましたので、私たちの方も委員の皆さん分も含め、お金の方を若干検討してまいりたいなという部分も含めまして、お知らせをしたいなと思います。

第70回岩手県公民館大会・令和6年度岩手県社会教育委員研究大会（花巻・遠野地区大会）についてお知らせです。その他資料をご覧ください。来年度の開催は花巻・遠野ブロックが担当となり、令和6年7月19日の金曜日、会場は花巻市文化会館を予定しております。花巻市と遠野市が現地の事務局となり開催内容等を考えてまいりたいと思います。社会教育委員の皆さまにも沢山のご参加をいただきたいと思いますので、こんな内容が良いのではないかと、な

どのご要望等ありましたら事務局の方までお寄せいただければ幸いです。なお、今年度の大会は明日となっております、滝沢市のビックルーフ滝沢において開催されることになっております。ちなみに、本日出席の菊池清委員が社会教育功労委員として表彰されます。おめでとうございます。

(2)資料提供について、昨年度もお願いしたことになりますが、資料の提供方法についてお願いでございます。県社教連からのお知らせなど簡易な事務文書を委員の皆さまにお送りする際、通常は郵送でお送りしておりますが、電子メールでの受け取りをご希望される場合、A5版の「資料の提供方法について」にお名前と電子メールアドレスをご記入いただき事務局までお願いいたします。

なお、社会教育委員会議の開催通知と資料については、従来どおり郵送でお知らせいたします。

そのほか、皆様から何かございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。ここで閉会の前に市川部長から一言お礼を申し上げたいと思います。よろしく申し上げます。

事務局（市川生涯
学習部長）

はい、ありがとうございました。長時間にわたりまして、特に次年度事業のご意見などもいただきました。きちんとそこは参考にさせていただきながら検討していきたいというふうに思います。

また会議以外にも何かお気づきの点がありましたら、ご遠慮なく事務局の方に連絡していただければと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

6 閉会 （閉会 午後4時00分）

事務局（菊池生涯
学習課長補佐）

それでは、以上をもちまして令和5年度第1回花巻市社会教育委員会議を終了いたします。大変ありがとうございました。